

はじめに

子供たちを取り巻く環境は刻一刻と変化し、これからの学校教育に求められる役割や機能が多様化していく中、各校では、子どもたちの発達や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人のよさや可能性を最大限伸ばしていく教育にご尽力いただいているところです。

生徒指導サポート実践校においては、全ての児童生徒が望ましい生き方を身に付け、自己実現を図るために、在籍する全ての児童生徒の「自己実現の基礎」と「未来を生き抜く力」を育成するために、「生徒指導の実践上の視点の機能化を図ること」、「授業が生徒指導の最大の場面であること」、「指導を尽くすこと」を基本理念とし、「生徒指導体制の確立」、「開かれた学級経営」の実現及び児童生徒の主体的な「絆づくり」の推進、「個に寄り添う指導・支援の充実」を取組の柱として、県内の公立小・中・義務教育学校、高等学校において暴力行為、いじめ、不登校等生徒指導上の諸課題の未然防止や早期対応を図る実践を進めてまいりました。

各実践校においては、社会性をはぐくみ、児童生徒間の絆を強め、望ましい集団を育成することを目的とし、各教科や特別活動等の中で、体験活動の取組を創意工夫されております。

各学校におかれましても、社会奉仕活動や異年齢交流等を通じて、児童生徒自らが課題を発見、解決するといった主体的な活動を推進していただきたいと思いをします。

児童生徒一人一人が、安全で安心できる学校、学級・ホームルームの中で、「自分自身が大切にされている」ことを実感できるとともに、夢や目標、志を抱き、自分のよさや可能性を認識し豊かな人生を切り拓くことや、互いに立場や人格を尊重し、心身ともに健やかに成長できる教育的環境の実現を目指し、本資料が各学校での取組の参考となり、生徒指導のより一層の充実に役立つことを願っています。

令和 8 年 3 月

豊かな心と身体育成課